気候情報

2014年12月の日本の天候

- ○全国的に低温だった
- ○ほぼ全国的に降水量は多く, 日照時間は少な かった
- ○日本海側を中心に降雪量は多かった

12月の天気概況

強い冬型の気圧配置となる日が多く、日本付近には 強い寒気が流れ込んだため、月平均気温は全国的に低 く、北・東・西日本日本海側では、曇りや雪または雨 の日が多く、沖縄・奄美でも曇りや雨の日が多かっ た。降水量は、沖縄・奄美を除いて全国的に多く、特 に、北日本日本海側で平年比154%、東日本日本海側 で平年比222%となり、12月としては統計を開始した 1946年以降で最も多い記録を更新した。また日照時間 は、東日本太平洋側を除いて全国的に少なく、北・ 東・西日本日本海側、沖縄・奄美ではかなり少なかっ た。月最深積雪は、北陸地方から東北地方で2mを 超えた所があったほか、アメダスを含む全国322の観 測地点のうち、北・東日本の14地点で、12月の月最深 積雪の最も大きい値を更新した。

上旬:日本付近には断続的に強い寒気が流れ込んだため、全国的に気温が低かった。降雪量は、東日本日本海側ではかなり多く、北・西日本日本海側で多かったほか、徳島県でも局地的に大雪となった。また、北・東日本日本海側の降水量はかなり多く、特に、東日本日本海側の降水量は平年比281%となり、12月上旬としては旬の統計を開始した1961年以降で最も多い記録を更新した。沖縄・奄美でも、前線や寒気の影響で曇りや雨の日が多かった。旬平均気温は、全国的に低かった。旬降水量は、北・東日本日本海側ではかなり多く、北日本太平洋側、西日本日本海側、沖縄・奄美で多かった。旬間日照時間は、東・西日本日本海側ではかなり少なく、北日本日本海側、沖縄・奄美で少なかった。

中旬:数日の周期で低気圧が通過後、冬型の気圧配 置とともに日本付近に強い寒気が流れ込んだため, 東 ・西日本の気温はかなり低く、日本海側では曇りや雪 または雨の日が多かった。特に、東日本日本海側の降 水量は平年比206%となり、12月中旬としては旬の統 計を開始した1961年以降で最も多い記録を更新した。 日本海中部と東シナ海から東へ移動した低気圧が, 北 海道付近でひとつにまとまった後発達したため,17日 朝には、根室地方の沿岸で顕著な高潮が発生したほ か、18日から19日にかけて、北海道東部を中心に北日 本から東・西日本日本海側の広い範囲を中心に大雪や 暴風雪となり、名古屋市でも積雪の深さが23 cm の大 雪となった。また、沖縄・奄美でも曇りや雨の日が多 かった。旬平均気温は、東・西日本ではかなり低く、 沖縄・奄美で低かった。旬降水量は,北・東・西日本 ではかなり多く、沖縄・奄美で多かった。 旬間日照時 間は、北日本太平洋側、東・西日本と沖縄・奄美では かなり少なく、北日本日本海側で少なかった。

下旬:旬の中頃に北・東日本を中心に強い冬型の気圧配置となったため、北・東日本日本海側の山沿いを中心に降雪量が多かった。一方、北・東・西日本太平洋側では晴れの日が多かった。沖縄・奄美でも、気圧の谷や寒気の影響で曇る日が多かった。旬平均気温は、全国的に低かった。旬降水量は、東日本日本海側ではかなり多く、北日本日本海側で多かった。一方、沖縄・奄美で少なかった。旬間日照時間は、北日本日本海側ではかなり少なく、東日本日本海側で少なかった。一方、東・西日本太平洋側で多かった。

12月の気候統計

月平均気温:全国的に低かった。

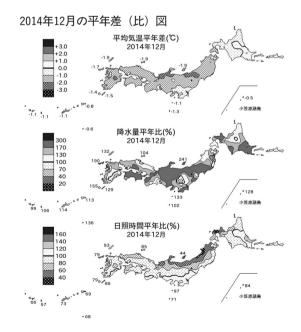
月降水量:北・東日本日本海側ではかなり多く, 北・東日本太平洋側,西日本で多かった。沖縄・奄美 では平年並だった。

月間日照時間:北・東・西日本日本海側,沖縄・奄美ではかなり少なく,北・西日本太平洋側で少なかった。東日本太平洋側では平年並だった。

(気象庁観測部情報管理室)

- **12月の記録**(1位更新のみ)―

- ・**月降水量多い方から** (mm) 倶知安 374.5 伏木 647.0 高山 248.5など11地点
- ・月間日照時間の少ない方から(h) 寿都 8.4 酒田 15.7 輪島 22.4
- ・降雪の深さ月合計の多い方から (cm) 小樽 262
- •月最深積雪の大きい方から (cm) 小樽 112



2015年2月